

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ

平成30年度予算額(案) : 989百万円
(平成29年度予算額 : 1,088百万円)

現状認識

- 我が国の女性研究者数は増加傾向にあるが、その割合は、主要国と比較して、なお低い水準。
- 研究者が研究活動を継続する上で、出産・育児・介護等との両立が困難。
- 研究者の業績評価に当たって、育児・介護に対する配慮が不足しているとの指摘。
- 結果として、女性研究者の上位職への登用が進んでいない。

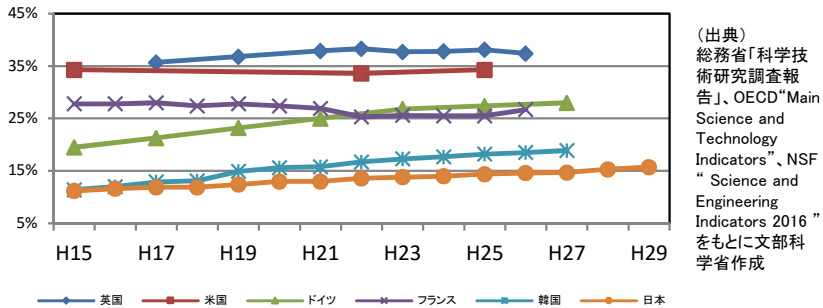
○第5期科学技術基本計画(抄) (平成28年1月閣議決定)

国は、女性が、研究等とライフイベントとの両立を図るための支援や環境整備を行うとともに、ロールモデルや好事例を幅広く周知し、情報共有を図る。さらに、組織の意思決定を行うマネジメント層やPI等への女性リーダーの育成と登用に積極的に取り組む大学及び公的研究機関等の取組を促進する。

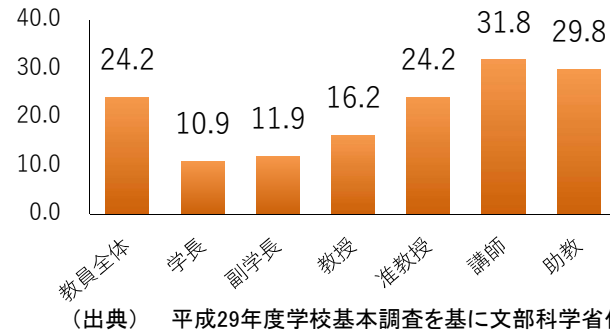
○第4次男女共同参画社会基本計画(抄) (平成27年12月閣議決定)

意思決定を行うマネジメント層を始め、研究現場を主導する女性研究者・技術者の登用推進に向けた大学、研究機関、学術団体、企業等のポジティブ・アクションを促進するとともに、女性研究者・技術者が継続して活動の最前線で活躍できるよう、研究等と育児・介護等の両立や研究・技術力の維持・向上に対する支援及び環境整備を行う。

●主要国における女性研究者割合の推移



●大学における職位別の女性教員割合



事業概要

研究と出産・育児・介護等との両立や女性研究者の研究力向上を通じたリーダー育成を一体的に推進するなど、研究環境のダイバーシティ実現に関する目標・計画を掲げ、優れた取組を実施する大学等を選定し、重点支援。

支援対象等

- 対象機関：大学、国立研究開発法人等
- 支援取組・事業期間：6年間(うち補助期間3年間) <平成30年度新規分>
 - ①複数の機関が連携し、地域や分野における女性研究者の活躍を牽引する取組(牽引型)
 - ②女性研究者の海外派遣等を通じた上位職登用の一層の推進等の取組(先端型)
 - ③全国で女性研究者を取り巻く研究環境整備等に取組む機関をつなぐ中核機関(群)として全国ネットワークの構築を図る取組(全国ネットワーク中核機関(群))
- 補助金額：5千万円程度/年(牽引型、全国ネットワーク中核機関(群))、2～5千万円程度/年(先端型)

大学や研究機関等における体系的・組織的な取組

【目標・計画の設定】

- ・研究環境のダイバーシティ実現のための目標(数値目標)、計画等の設定
- ・指導的立場における女性割合の数値目標の設定

【研究の継続・復帰】

- ・ライフイベント中の研究補助者やメンターの配置
- ・ライフイベント等により研究継続を断念した者等の研究活動の再開支援
- ・研究リーダーにふさわしい研究能力やマネジメント能力等の育成
- ・夜間保育、休日保育、病児・病後児保育等の利用に対する支援 等

【補助期間終了後の継続性】

- ・マッチングファンド方式等により、補助期間終了後の自主的な継続を担保

期待される効果

- 女性研究者が途切れることなくキャリアアップを図ることができる環境の整備。女性リーダーの活躍促進。
- 様々な視点を持った研究者が共に研究活動を行う環境が構築され、新たな研究開発成果が生まれることが期待